

水橋学園スクールバス ルート変更等に関する説明会

富山市教育委員会

次第

- 1 開会挨拶…19：00～
- 2 スクールバスルート変更について…19：05～
- 3 質疑応答…19：25～
- 4 閉会挨拶…19：55～

※質疑応答において、多くの方からのご質問がある場合は、
1人1問とさせていただきます。
また、時刻になりましたら説明会を終了させていただきます。

スクールバスのルート変更について

- ▼ 現在のルートやバス停、ダイヤは、水橋学園開校前に水橋地区学校総合推進委員会（地域と旧小・中学校PTA、学校関係者等で構成）の要望や合意を経て決定している。
- ▼ 同委員会におけるバス乗車対象範囲の決定に伴い、乗車対象である多数の児童生徒を「登下校時刻」に間に合わせるため、バスは伊勢屋踏切を通るなど最短ルートで運行していた。
- ▼ 一方、狭隘な道路通過や公共施設敷地内でのスイッチバックを行うなど運行ルートが複雑となっている。



伊勢屋踏切内停車事故を受けた保護者説明会（6/30開催）において、
ルート見直しの意見があがる



説明会での意見を踏まえ、児童生徒の送迎の安全を第一に、
ルート等の抜本的な見直しを実施

見直したルートによる試行運行（7/27～29、8/3～5）と、緊急事態訓練（伝達・現場派遣）を実施

見直し方針

- ① 児童生徒を**乗せた状態で踏切は通過しない**。（回送は通過する。）
- ② 安全性の向上と時間割を変えないよう、**狭い道路をなるべく除外**する。
- ③ 時間短縮や事故リスクを減らすため、**バス停を再配置**する。

2学期から新ルート
で運行したい



バス台数の変更は困難
（運転士がいない）

課題1

あいの風とやま鉄道線を南北に縦断するには、踏切（3か所）、水橋跨線橋（県道15号線）、常願寺川右岸堤防沿いのいずれかを通過する必要がある。

課題2

保護者説明会では、「踏切を通過しない」ルートへ変更してほしいとの意見があがったこと。

課題3

バスを利用していない児童生徒もいるため、水橋学園の時間割に大きく影響を与えないこと。

既存ルート



変更ポイント①

- 水橋西部（中央）方面【——】
回送のみ第1北陸街道踏切を通過
- 水橋中部・西部（北部）方面
水橋跨線橋を通過【——】

変更ポイント②

- **廃止**するバス停
水橋中部消防分団・水橋中部地区センター・水橋西部地区センター
- **新設**するバス停
水橋漁港前・河合デンキ前・水橋東部団地口・高田医院前・かね七前・小林建設前

⇒乗降場所の割り当ては8/19にご案内します。

変更なし

- 児童生徒が多いため、バス停によってはピストン運行が必要。
- 水橋学園の時間割（登校完了時刻や下校完了時刻）に影響なし。
- これまで同様、バス停に送迎用駐車場なし。



- お子さんが乗降するバス停は8月19日にクラスルームを用いてお知らせいたします。掲載時に、テトルにてご案内します。
- 2学期始業式（8月27日）より、新ルート・新バス停・新ダイヤで運行いたします。
- 8月27日・28日の両日は、主に水橋西部方面・水橋中部方面のバスに学校の教員が乗車し指導します。また、教育委員会職員は全てのバス停で見守りを行います。
- 秋以降は、台風や大雨、積雪、凍結など天候不良が発生しやすい季節となります。事故防止のため、予防的運休を行うなど、安全第一に努めてまいります。

- 事故の再発防止のため、運行事業者においては安全教育や労務管理の徹底を行います。また、運転士は、より一層の安全運転に努めます。
- 学校・運行事業者・教育委員会の3者それぞれで事故発生時に正確で速やかな対応ができるよう**危機管理マニュアル**を整備し、**定期的な訓練**を行います。
- 学校では、引き続きお子さんに対し乗車マナーの指導を行います。

学校では、6月に車内事故の防止を目的に、お子さんへ指導を行いました。

とやまし きょういくいいんかい ねが
富山市教育委員会からのお願い

- 1 おお こえ はな
大きな声で話さない
- 2 た ある
立ち歩かない
- 3 ざせき きず
座席をけらない、傷つけない
- 4 **しっかりあいさつ**

いつもルールを守ってくれてありがとう！



こうした対応は事故再発防止に必要です。お子さんの乗車マナー向上も事故防止に寄与します。
2学期からの運行に向けてご家庭で一度マナーについてお話しください。

ルート変更案を決定するまでの経緯

■7月6日～ルート変更に向けた基本的な考え方の整理と、下記の案のルート上の注意箇所やダイヤ案の確認

- ①「ルートを迂回させるがバス停を変更しない案」を作成。実際に走行し、ダイヤを確認。
→冬期の学校到着が午前7時前、下校最終便に1時間程度待ち時間発生。
- ②「ルート及びバス停の両方を変更する案（今回提示）」を作成。実際に走行し、ダイヤを確認。
→狭隘な道路を通らず、学園到着時刻に大きく変更なし。跨線橋を通過するため凍結に注意が必要。

■7月27～29日と8月3～5日にかけて、実際のバスを用いてルート及びダイヤを精査。



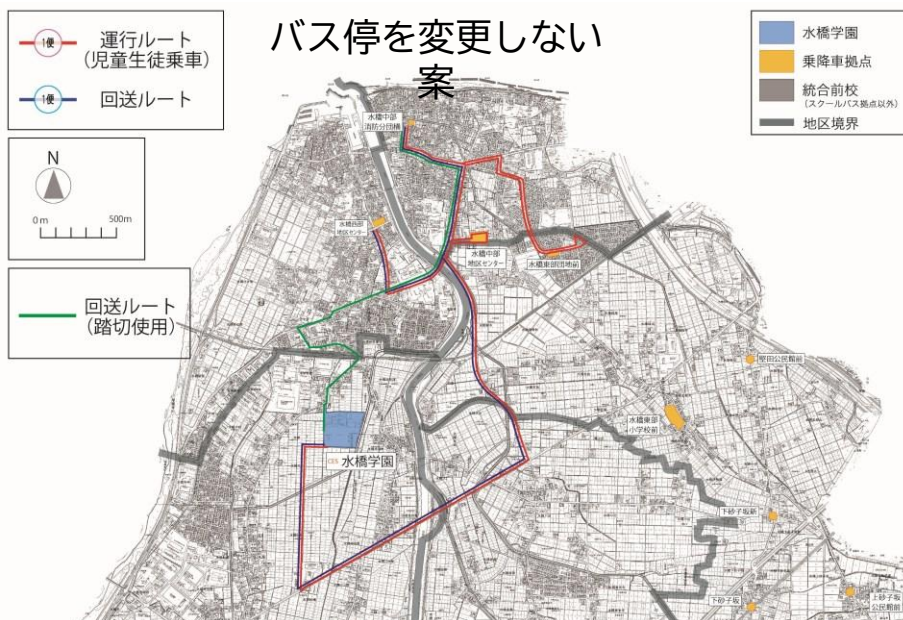
ルート案検討にあわせて
事態に応じた連絡体
制の訓練を実施

緊急事態対応訓練（連絡体制）の実施

■7月30日、学校・運行事業者・教育委員会の3者で、「伝達・現地派遣」の訓練を実施。

<想定>

児童が乗車中に体調不良となる。安全な場所にバスを停車させ、119番通報を行う。また、一報を受けた学校や運行事業者は現地に急行し、他の児童の安全確保と二次被害を出さないよう、交通整理を行う。



質問	対応・措置	対応者
乗車人数を正確に把握する方法はないのか。	従前：5・6年生は自由乗車 改善：登校し教室へ入った際に、乗車するバスにネーム入りマグネットシートを貼る。	学校
	事故発生時、現地においてお子さんの学年・氏名を運転士（状況によっては教員や運行事業者）が確認します。	運行事業者・学校
ルート変更でバス停が変わるかもしれないということか。理由を知りたい。	ルート変更に伴いバス停も再配置しており、あいの風とやま鉄道線以北のお子さんは、乗降場所が変更となります。 現在の水橋学園の校時（時間割）は、登校完了時刻が08：20、下校完了時刻が16：50となっています。 例えば登校完了時刻が8：40になると、下校完了時刻が17：10となり、給食や授業終了時刻、部活動など様々な学校生活の時間が変更となるほか、下校後のご家庭における日常生活にも負担をおかけすることに繋がります。 このため、バス停を再配置することで、バスの移動時間を短縮し、学校の時間を変更しないようにいたしました。 なお、乗降場所が変わることで、一部のお子さんはバス停までの距離が長くなります。 児童生徒の送迎の安全確保と大人数の送迎、学校生活への影響を少なくすることを達成するために、ご不便をおかけしますがご理解ください。	教育委員会
ルート変更によって、通学路が変わることはないのか。また、その通学路の安全はどのように確保するのか	乗降場所が変わる場合は通学路も変更となることがあります。こちらは学園より別にお知らせします。 新たな通学路を設定する場合は、学園と教育委員会などで危険個所をピックアップし、関係機関に対策を働きかけてまいります。	教育委員会・学校

質問	対応・措置	対応者
ルート変更が可能なら、初めから踏切を通らないルートを設定できたのではないのか。	ルートの設定以前に、バス停の位置やバスの乗車対象範囲について水橋地区学校統合推進委員会から要望をいただきました。 このため、要望されたバス停を通りながら、多数の児童生徒を学校の登校時刻に間に合わせるようにするためには、伊勢屋踏切を通過が最短ルートでありました。 したがって、踏切を通らないルートを設定するためには、今回のようにルートやバス停そのものを大きく見直す必要があります。	教育委員会
前回の保護者説明会から時間が相当立っている。ルート変更になぜこんなに時間がかかったのか。	全員が乗車できるバスで、単純なルート変更であれば、さほど時間はかからないものと思われます。 しかしながら、水橋地域は乗車人数が多く、ルートの設定とバス停の再配置、バス停から乗降する1～9年生分の児童生徒の割り振り、水橋東部や三郷、上条地区への影響はないか、学校の時間割や教員の勤務時間に影響はないかなど検討する事項が相当あることや、案をもとにした注意箇所の確認や試行運行の実施・修正をおこなっております。時間を要することとなりましたが、安全第一に検討を重ねたためとご承知おきいただければと思います。	教育委員会
事故発生時のドライブレコーダーの映像は公開しないのか。	車内のドライブレコーダーは、運行事業者による運転士の安全運行の確認や事故の調査、車内での危険行為の確認や事故防止啓発のために設置しております。 今回の事故については、現在、関係機関による事故調査が行われております。このため、映像の公開により、調査に影響を与える恐れがありますので、公開を控えさせていただきます。	教育委員会